

第52回神戸電鉄粟生線活性化協議会

日時：令和6年7月1日（月）
午後2時10分～午後3時10分
場所：三木市立教育センター 4階 大研修室

○事務局

失礼いたします。

それでは、定刻となりましたので、ただいまから第52回神戸電鉄粟生線活性化協議会を開会いたします。

私は、協議会事務局の三木市都市整備部交通政策課長の●●と申します。どうぞよろしくお願いたします。

それでは、開会に当たりまして、協議会会長の仲田三木市長から御挨拶を申し上げます。

○会長

皆さん、こんにちは。

今日は足元が悪い中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

三木市も、本日7月1日で市制施行70周年という節目の年を迎えます。高砂市は、今日、記念式典をされてますけれども、三木市と、養父市も70周年ということで、三木市と養父市は7日の日に文化会館でさせていただきます。また、小野市も12月に市制施行70周年という節目の年を迎えられるということで聞いております。この節目の年、いろんなことがあろうかと思いますが、また、この粟生線活性化に向けて、引き続きいろんな忌憚のない御意見をお聞かせいただきまして、粟生線の存続に向けて、引き続き取り組んでまいりたいと思いますので、よろしくお願いたします。

本年度1回目となります今日の協議会でありますので、令和5年度の事業報告や歳入歳出決算、また、令和6年度の方針等について御審議いただくこととなります。

また、粟生線の利用状況、また、木津駅的美装化の取組についても御報告をさせていただくところであります。

また、神戸電鉄さんも、後ほど報告あろうかと思いますが、また、社長さんも新たに替わられたということで、どうぞよろしくお願申し上げたいと思います。

なお、今年度第1回ということですので、この後、また、交通政策課長のほうから協議会の趣旨、また、協議会の協議のスケジュールにつきましては、新たに替わられたかたもありますので、年度はじめということで、あらためて事務局から説明をさせていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願申し上げまして、開会の挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いたします。

○事務局

ありがとうございました。

続きまして、会議の次第2、委員紹介に移らせていただきます。

お手元の配布資料の一番後ろに付けてございます協議会規約の4ページ目、別表1の名簿を御覧ください。

名簿のうち、朱書きとさせていただきます委員様におかれましては、人事異動により前回の協議会から変更のあった委員となります。変更のあった委員様につきましてはのみ御紹介させていただきます。

兵庫県土木部次長、●●様。

○●●委員

●●でございます。よろしくお願いたします。

○事務局

神戸市都市局部長（交通担当）、●●様。

○●●委員

●●です。どうぞよろしく願いいたします。

○事務局

兵庫県北播磨県民局加東土木事務所長、●●様、神戸市建設局道路計画課長、●●様、本日欠席の御連絡をいただいております。

続きまして、変更のございましたオブザーバーを御紹介いたします。

国土交通省近畿運輸局鉄道部計画課長、●●様。

○●●オブザーバー

●●です。どうぞよろしく願います。

○事務局

国土交通省神戸運輸監理部兵庫陸運部首席運輸企画専門官（輸送担当）、●●様。

○●●オブザーバー

●●でございます。よろしく願いいたします。

○事務局

兵庫県神戸県民センター県民躍動室神戸魅力づくり参事、●●様、本日御欠席の連絡をいただいております。

兵庫県北播磨県民局県民躍動室長、●●様。

○●●オブザーバー

●●です。よろしく願いいたします。

○事務局

以上でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

なお、本日は、オブザーバーの●●様の代理といたしまして、●●様に御出席いただいております。よろしくお願い申し上げます。

○●●オブザーバー代理

●●です。どうぞよろしく願います。

ちょっと付け加えまして、●●のほうなんですけれども、本日付けで異動になりました、後任が●●という者になりますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。

○事務局

ありがとうございました。

また、本日、さきほども申し上げましたが、●●委員、●●委員、●●委員、●●委員、●●委員につきましては、あらかじめ欠席の御連絡をいただいておりますことを御報告いたします。

次に、本日、本協議会の委員25名のうち、現在のところ17名の出席をいただいております。過半数以上の出席がございますことから、協議会規約第8条第4項の規定によりまして、本会議は成立しておりますことを御報告いたします。

ここで、さきほど会長からも御挨拶がございましたが、本日は本年度最初の協議会ということもあり、委員やオブザーバーに変更がございましたので、協議会の趣旨、それと、神戸電鉄粟生線地域公共交通計画につきまして簡単に御説明申し上げます。

まず、本協議会につきましては、規約にも掲載してございますが、粟生線の計画の作成、変更に関する協議や、計画の実施に係る連絡調整を行うために設置された会議でございます。粟生線の利用促進について協議する協議会ということでございます。おおむね毎年度3回程度開催しております。1回目につきましては、協議会の決算や予算などについて協議、2回目につきましては国への要望内容、3回目につきましては計画に基づく事業の取組状況などを協議報告する中で、いただいた御意見などを踏まえて次の年度以降の取

組に反映していくこととしております。

次に、神戸電鉄粟生線地域公共交通計画について御説明いたします。

お手元に配付しております資料の計画概要版、こちらでございますが、この概要版を御覧ください。

この本計画につきましては、令和4年12月に策定いたしまして、令和9年度までの約5年間の計画となっております。令和5年度が実質的な計画の初年度でしたので、本年度は計画の2年目に当たるということでございます。

冊子の見開きには、計画の理念や基本方針などが記載されております。後ほど、事業の実績等、御説明させていただく際、適宜、御参照いただきますようよろしくお願いいたします。

また、冊子の最終ページ、一番裏のページですけれども、そちらには鉄道実利用者数など、数値目標を記載しております。そちらにつきましてもあらためて御確認いただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

簡単ではございますが、概要を御説明させていただきました。

それでは、これからの進行につきましては、仲田会長にお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

○会長

それでは、お手元の会議次第の3番、協議事項に入らせていただきます。

議事第1号の令和5年度協議会の事業報告及び2号の協議会の歳入・歳出決算及び監査報告につきましては関連しますので、一括して事務局から説明をお願いいたします。

○事務局

皆さん、こんにちは。三木市役所交通政策課の●●と申します。

資料1、それから、資料2につきまして、私のほうから御説明させていただきます。

以下、着座にて失礼いたします。

そういたしますと、最初に資料1、令和5年度の協議会の事業報告についてということでお手元に御準備いただけたらと思います。

この資料を御覧いただいたことがあるかたもいらっしゃると思いますが、計画の基本方針、施策ごとに取りまとめております。ページの右側半分が、令和5年度の実績としております。実績の左側に、1、2、3、4と縦に番号を振っております。こちら、事業番号ということで、この番号を使いながら御案内してまいりますので、御確認いただけたらと思います。また、項目が非常に多数ございますので、ピックアップして御案内をしていきたいなというふうに考えております。

そういたしますと、まず1ページ目でございますが、最初、3番、御覧いただけたらと思います。

こちら、駅、駅前空間、アクセス環境の快適性の向上の施策の中の取組となりますが、3番、押部谷駅において、押部谷中学校と連携した駅的美装化を実施ということで、生徒自ら考案したデザインによる柵の塗装、利用促進ポスターの掲示を実施ということで、協議会と押部谷中学校と連携した取組としております。

また、4番ですけれども、木津駅において神戸市ふるさと納税を活用した美装化を実施ということでございます。こちらは、神戸市様の取組でございますが、後ほど報告事項の中で、神戸市様から個別に御報告がありますので、また後ほどよろしくお願いいたします。

続いて、6番ですけれども、粟生線サイクルトレインを運行ということで、今年度は謎解きラリーを同時開催したほか、モニター参加枠を設けまして、車内で自転車の固定等の実験を行ったということでございます。

少し下のほうに目を移していただきまして、11番でございますが、こちらはパーク・アンド・ライド駐車場の令和5年度の実績を記載しております。小野、小野第2、三木、

恵比須、それから、広野ゴルフ場前と押部谷ということで、それぞれのパーク・アンド・ライドの利用台数、それから、駐車台数、最後に、パーク・アンド・ライドの利用率ということで実績を記載しております。

また、その下、12番ですけれども、小野駅前時間貸駐車場の精算機のキャッシュレス化を新たに実施ということでございます。こちらは、本日、配布資料の中に、個別にこのキャッシュレス化の取組について資料をお配りしております。配布資料のほう、写真も入れておりますけれども、パーク・アンド・ライドのキャッシュレス化、今までは現金でお支払いいただいていたところを、QRコードで読み取るような形のキャッシュレス化、それから、併せまして、フラップレス化といたしまして、駐車する際に車の下にゲートのような形でフラップを設けておったんですけれども、それを撤去するような、最近はやりのフラップレスタイプの駐車場のほうに移行しております。これによりまして、利便性、快適性、安全性の向上を図って利用促進していこうということで、まだ開設してから間もないですけれども、約2割のかたが既にキャッシュレスの利用をいただいているというような状況でございます。

そうしますと、資料1のほうに戻っていただきまして、1ページめくっていただきます。

事業の番号でいきますと14番でございます。

14番、こちら、三木市の取組でございますが、昼間時間帯における志染駅、三木駅区間の増便運行ということで、令和2年から継続しておりますが、利用者数の増加の状況を踏まえまして、更に2年間の運行継続を決定したというところでございます。

それから、少し下のほうに目を移していただきますが、観光との連携ということでございまして、23番、小野アルプス内、きすみの見晴らしの森において、登山時の安全性向上に向けた散策道の伐採整備等、こちらは小野市様のほうで取り組んでおられます。

また、その下、25番になりますけれども、長治公とともに三木城下町を巡るリアル謎解きイベントということで、こちら、恵比須駅を謎解きマップの配布場所としまして、事業を実施しておるというところでございます。

1ページめくっていただきまして、企画乗車券の発行ということで、28番、御覧いただきたいと思えます。

おもてなしきっぷにつきまして、神戸市交通局様との連携の継続、それから、新たに神姫バス様、神姫ゾーンバス様とも連携しまして、事業を拡充したというところでございます。販売枚数5,911枚ということですが、令和4年度と比べまして約1,200枚増加ということで、26%の増ということで、非常に好調な推移となっております。

また、29、30でございますけれども、それぞれ、神戸市様、それから、三木市と、主に高齢者向けの企画乗車券の交付ということで、いずれも令和4年度から実績が増えておるというところでございます。

1ページめくっていただきまして、事業の番号でいきますと41番でございます。

41、兵庫県立三木北高校の生徒様による粟生線と地域の活性化を考える授業に参画ということで、こちらのほうはいわゆるモビリティ・マネジメントということで、公共交通の利用を促すような取組というところで実施しております。

併せまして、42、43、44ということでございますが、こちら、神戸市様、三木市、小野市様でそれぞれ中学生や高齢者向けの説明会、出前講座でありますとか、各地区に公共交通の説明、利用促進ということで地域に入らせていただいたということでございます。

1ページめくっていただきまして、52番でございます。

52番、SNSを活用したイベント、神鉄沿線GO!GO!キャンペーンの実施ということで、こちらのほうは神戸電鉄様の取組ということでございまして、国の補助金を活用

しながら、SNSを利用した取組を実施されております。

その下の53、54ということですが、53が七夕装飾列車、クリスマス装飾列車、こちらのほうは沿線の幼稚園、保育園、保育所に御協力いただきまして、列車の装飾等を実施しております。

また、54番につきましては、実に4年ぶりと、コロナ禍でしばらく運行を見合わせておりましたが、電車に乗ってハッピークリスマスの運行を実施しております。

1ページめくっていただけますでしょうか。

こちら、資料1の最終ページになります。

58番、粟生線サポーターズクラブの取組ということで、サポーターズクラブの運営委員のかたに各種取組を実施いただいております。①から⑦までありますが、駅の風鈴装飾でありますとか、清掃活動でありますとか、こういったところでボランティアの活動を実施いただいております。

また、下のほうに目を移していただきまして、62番でございますが、小野市の小野まつりと連携した企画乗車券、小野まつり1dayチケットの新たな販売ということでございます。

また、63番、65番ですが、63につきましては4年ぶりの通常開催となりました神鉄トレインフェスティバルということです。また、65番、こちらもコロナ禍で運行をしばらく見合わせておりました山田錦まつりと連携した特別列車ということで、5年ぶりの開催ということになりました。山田錦まつりのイベント列車につきましては、配布資料のほうにも写真等を載せた資料を付けておりますので、また、御覧いただけたらと思います。

説明につきましては、資料2のほうに進めさせていただきたいと思っております。

お手元、資料2を御準備いただきたいと思っております。

議事2号、令和5年度の協議会の歳入・歳出決算ということでございまして、上のほうが歳入、下のほうが歳出ということでございます。

まず、歳入ですが、1の負担金、予算額1,600万に對しまして、決算額1,538万8,903円ということで、こちら、沿線3市と神戸電鉄様の負担金でございます。2の繰越金、3の諸収入については御覧のとおりということで、決算額1,538万8,942円ということでございました。

また、歳出のほうですが、1の運営費につきましては、決算額37万2,675円、それから、2の事業費でございますが、1,560万の予算に對しまして、決算額1,501万6,266円ということです。3、返還金、4、予備費は御覧のとおりでございます。合計で決算額1,538万8,942円ということでございました。

ページの裏面、監査報告につきましては、神戸市様のほうからよろしくお願いたします。

○●●委員

失礼いたします。

会計監査報告書、令和5年度神戸電鉄粟生線活性化協議会歳入歳出決算について、決算書と証拠書類等を照合した結果、いずれも適正に管理され、違算なきことを確認いたしましたので、ここに報告します。令和6年6月12日、神戸電鉄粟生線活性化協議会監事、

●●。

○会長

ありがとうございました。

それでは、議事第1号、2号について何か御質問等ありましたら、マイクを持っていきますので、挙手にてお願いいたします。

よろしいですか。

(「なし」の声あり)

○会長

質問等ないようですので、議事1号、2号については御承認いただけますでしょうか。よろしいでしょうか。

異議なしということでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○会長

ありがとうございます。拍手までしていただきまして、ありがとうございます。

では、第1号、第2号は承認をされました。

まずは、次に移ります。

議事の3号、4号ということで、令和6年度の協議会の方針及び歳入歳出決算について、これも相互に関連がありますので、一括して、まずは事務局のほうから説明をお願いします。

○事務局

引き続きまして、資料3と資料4でございます。

まずは、資料3からまいります。

議事3号、令和6年度の協議会の取組方針(案)についてということでございます。

こちらのほう、計画の目標・理念及び基本方針に基づきまして、行政、交通事業者及び地域住民等の各関係者が主体となりまして、公共交通の維持・活性化に継続して取り組んでまいりますということです。

その下のほうに、各計画の基本方針ごとに主な取組を掲げておりますので、確認させていただきたいと思えます。

まず、(1)の基本方針1に基づく取組ということでございまして、大きく3点上げております。

まず、アですけれども、鉄道安全輸送設備等整備事業費補助によります支援ということでございます。次に、イですけれども、駅的美装化の実施ということです。最後に、ウ、パーク・アンド・ライド駐車場のキャッシュレス化ということでございます。

この中で、イ、駅的美装化の実施ということでございますけれども、駅利用者の快適性の向上のために、駅的美装化、引き続き実施してまいります。昨年度実施しました中学校と連携した駅的美装化のように、単に修繕のみを行うのではなくて、デザイン面でも趣向を凝らしまして、特徴のある駅づくりを目指してまいりたいと考えております。中学生のみならず、広く子どもや子育て世代などと連携した取組となるよう検討しまして、粟生線への愛着やマイレール意識の醸成が図られるように取り組んでいきたいと考えております。

また、ウのパーク・アンド・ライドのほうですけれども、駐車場の利便性を高めまして利用を促進するため、パーク・アンド・ライド駐車場の精算機のキャッシュレス化に取り組んでまいりますとともに、キャッシュレス化の周知PR、それから、キャッシュレス決済を活用した駐車場の利用促進策を検討していきたいと考えております。

(2)の基本方針2に基づく取組でございますけれども、アの鈴蘭台のまちづくり、こちらは、神戸市様の取組でございます。イは、三木市のほうで新たな住宅地の整備や住宅地から駅へのアクセス交通の確保・充実ということで入れております。

それから、後ろ、裏の面に行きますけれども、ウ、こちら、小野市様の取組でございますが、ひょうご小野産業団地企業利用促進ということでございます。

最後に、エとありますけれども、鉄道及びバスの連携によるおもてなしきっぷの販売ということでございます。

この中で、特にこのエですけれども、おもてなしきっぷ、こちらのほうは協議会が実施

する取組となっております。さきほどの令和5年度の実績報告でもありまして、近年着実に販売枚数を伸ばしております。昨年度は、新たにバス事業者との連携も実施したばかりということでございまして、引き続き、バス事業者とも連携いたしまして、おもてなしきっぷの販売継続、公共交通利用の更なる定着を図っていきたくと考えております。

最後、(3)基本方針3に基づく取組でございます。

こちらのほう、ア、モビリティ・マネジメントの推進。それから、イの利用のきっかけとなる乗車イベントの実施でございます。

このうち、アのほうですけれども、粟生線の利用を喚起するため、引き続きモビリティ・マネジメントに取り組んでまいります。園児、小・中学生を対象とした取組のほか、昨年度から取り組んでおります高校生へのモビリティ・マネジメントについても継続しまして、公共交通に関する学びでありますとか、公共交通の利用促進に関する高校生の主体的な活動をサポートしていきたいというふうに考えております。

続いて、資料4のほうをお手元に御準備いただきたいと思います。

資料4、議事4号、令和6年度の協議会の歳入・歳出予算(案)ということでございます。

上のほうが歳入ということで、令和6年度の予算額、1の負担金が1,600万円、2の繰越金、3の諸収入、御覧のとおりでございまして、合計1,600万2,000円ということでございます。

歳出につきましては、令和6年度予算額、1の運営費40万円、2の事業費1,560万円、3の返還金、4の予備費については御覧のとおりで、合計1,600万2,000円ということです。

歳入歳出は、いずれも令和5年度予算額と同額としております。

ひとまず、資料3、資料4については、説明は以上とさせていただきます。

○会長

ありがとうございました。

議事3号、議事4号につきまして、また御意見、御質問ありましたら挙手にてお願いいたします。

では、●●先生。

○●●委員

別に質問ということはないんですけれども、せっかくの機会なもので。

方針については特に疑義があるわけじゃなく、やっていることを着実に進めていただければいいなと思ってます。どれも大切だとは思いますが、例えば、基本方針3のモビリティ・マネジメントのところ、高校生の主体的な活動をサポートするっていうのがあって、小野高校さんの放送部さんの放送だとか、ずっと続いていますし、あと、5年度の報告では、三木北高校さんに入っていろいろな活動をされてるのを聞いて、いいなと思うので、ぜひともこの活動の輪が広がって、ほかの学校とか、ほかのエリアにも広がってほしいなという、これは期待を込めての発言です。

もう一つ、おもてなしきっぷなんですけど、さきほどの5年度でいうと、神姫バスさん、ゾーンバスさんも入って、6,000枚近く売り上げたっていうことで、例えば、6年度、例えばこれぐらいの枚数を売ろうとか、例えば広報体制を強化しようとか、何かもし現時点で考えておられることがあったら教えていただきたいなと。

○会長

まずは、6年度の目標として、事務局、何かありましたら。

○事務局

ありがとうございます。

おもてなしきっぷの目標値については、毎年、前年度実績以上を目指してっております。

す。実際、年度でいいますと、令和2年、3年頃だったかと思いますがけれども、そこから毎年1,000枚規模で増加しておりますので、従来は2,000枚とか、3,000枚まで行かないような企画乗車券でありましたが、神戸市交通局様との連携とか、神姫バス様、神姫ゾーンバス様との連携ということで、少しずつ販売を増やしております。令和6年度も、昨年度実績以上を目指して取り組んでいきたいと思っております。

また、利用のPRといったところですが、引き続き、最近では、駅貼りのポスター等もありますが、今、おもてなしきっぷについてはウェブサイト上でその企画に参加いただけるように、店舗の周知でありますとか、使い方のほうを説明しておりますので、またそういった紙媒体だけではなくて、オンライン上での情報周知も図っていきなというふうに考えております。

ひとまず以上です。

○会長

よろしいですか。

○●●委員

はい。

○会長

さきほど、高校生、高校生と出ましたので、三木東高校、●●先生、突然振って申し訳ありませんが、何かありましたら。

○●●委員

失礼いたします。三木東高校の●●と申します。

令和7年度から三木総合高校、仮称なんですけども、来年度から新しい学校の名前になって、1年生が三木総合高校で、2、3年生が三木東高校っていうふうに、違う高校の生徒が1つの校舎を使うという状況になっています。

新しい学校のPRもそうなんですけど、やっぱり資料も出していただいている、押部谷中学校が押部谷駅のデザインをしたりであるとか、そういうことを、うちでは美術部がけっこう強いといえますか、そういうこともできますので、あと、清掃活動とか、そういうものは比較的協力しやすいので、もしできるのであれば、ちょっとまた御相談をさせていただいて、うちの学校でもできたらなというふうに、今、考えておりました。

以上です。

○会長

ありがとうございます。また、事務局、相談してください。

さきほど、神姫バス、神姫ゾーンバスという話も出ましたので、マイクが、●●さん、またよろしく願います。

○●●委員

我々のほうの会社でもホームページがございます。それから、SNSでの周知活動もしっかりやっておりますので、また、引き続き、そういった方法で周知活動、協力していきたいと思っております。

○会長

すいません。突然振りまして、ありがとうございます。

御意見、御質問ありましたら挙手にてお願いいたします。

(「なし」の声あり)

○会長

ではまず、ここは閉めさせていただいて、ないようでしたら、これもちょっと御承認をいただくこととなりますので、もし御承認いただけるようであれば、拍手で御承認いただけましたら。

ありがとうございます。では、第3号、第4号とも承認をされました。

続きまして、報告事項にまずは入らせていただきます。

まず、粟生線の利用状況についてということで、神戸電鉄の●●専務よろしくお願ひします。

○●●委員

神戸電鉄の●●でございます。

まずは、平素、弊社事業につきまして御理解と御支援を賜っておりますこと、この場であらためてお礼を申し上げます。

では、資料については着座にて説明をさせていただきます。

それでは、資料5を御覧ください。

まず、1ページ目でございます。

これは、年度別の利用者数の推移を折れ線グラフで示してございます。

2023年度の年間の実利用者数は、約692万人ということになっておりまして、コロナの影響で減少しました対前年度ということでは約19万人の増加、率で申しますと、プラスの2.8%ということになってございます。

しかしながら、コロナ前、2019年度と比べますと、約92万人の減少ということ、率で申しますと、マイナス11.8%という大きな減少となっておりますという状況でございます。

また、2022年度12月末に決定をしました新計画の目標値、これは700万人ということでございますけれども、これに対しては残念ながら約8万人の未達というような状況であるというところでございます。

それから、コロナの影響から徐々に回復しているというものの、回復のペースにつきましては鈍化が見られるということで、またコロナ前の状態に復するということが、この状態から見るとかなり難しいという状況であるというのが現状でございます。

続きまして、2ページ目、3ページ目を御覧ください。

まず、2ページ目でございますけれども、2023年度の実利用者数の月別推移を示してございます。2023年度は、ゴールデンウィーク以降、コロナが5類になったということもございまして、対前年度の月別の数字を見ても、年間ほぼプラスというような状態で推移をしております。ただ、3月だけをちょっと見ていただきますと、対前年度でマイナスになっておるということでございますけれども、これは3月、今年の3月、天候が非常に悪かったということと、桜の開花が4月にずれたということで、22年度は3月に桜が咲き始めたということで、その2つの大きな要因があってマイナスになったということでございますので、ちょっと今年度とは違うというところでございます。

それから、2019年度3月には、国内でコロナ感染症の影響が出始めたため、2023年3月は19年度に比べてもプラスになっておるとところが1つの特徴かなというふうに思っております。

それから続いて、3ページ目に、券種別の推移をお示ししておりますけれども、これを見ていただくと分かりますように、定期外については順調に回復をしておりますけれども、定期については回復状況が悪いというような状況であるというところでございます。

続きまして、4ページ目を御覧ください。

これは、2023年度の利用の実数を示してございます。最初のところでも説明しましたように、粟生線については692万人という利用がございました。それを一番下の表でございまして、駅別に分けておるということで、それを更に市別で集計をしておるというところでございます。その表の一番右の欄がパーセンテージを示しておるというところでございまして、神戸市の合計が46.6%、それから、三木市の合計が36.6%、小野市の合計が16.8%という構成になってございまして、これにつきましては昨年度とほぼ数字が変わっていないという現状でございます。

続きまして、5ページ目を御覧ください。

こちらは、さきほどの数字を、対前年度比較をしておるといところでございまして、栗生線全体でいいますと、対前年プラス2.8%といところでございます。これも同じように駅別、それから、市別の集計をしておりますけれども、同じように一番右の欄が対前年度の増加率を示しております。

ちょっと特徴的なところだけを申しますと、藍那がマイナス8.5%という、この中で非常に大きなマイナスになってございます。ただ、藍那駅につきましては、ちょっと乗降数が少ないので、少しの変化で大きな数値になってしまうといところでございます。この減少については、藍那小学校の生徒数が若干減少をしております。その影響が出ておるのかなといところでございまして、前年度は41名の生徒数でしたけれども、本年度は34名といことで、7名減っておるといことで、これが日々の数値に反映しますので、大きなマイナスになっておるかなといふうに思っております。

それから、次に、木津駅がプラスの4.7%といことでございましてけれども、これは工業団地の就業数が増加しておるものと見てございます。

それから、三木上の丸と三木駅につきましては、それぞれ増加率が8.3%、それから、6.5%というプラスになってございます。これにつきましては、三木駅までの昼間の増便の影響が出ておるといふうに推測しております。

次に、大村駅が7.8%、それから、その次の檜山駅が11.7%といことで、ここも大きなプラスになってございますけれども、これは両駅とも外国人労働者の乗降が多く見られるといことで、その部分が復活してきておるとい影響と見てございます。

それから、葉多駅でございましてけれども、プラスの17.9%といことで、ここも数値的には大きなプラスになってございますけれども、乗降数が少ないといことで数字は大きく出ておりますけれども、近隣の小野工業高校の生徒数については若干のプラスですけれども、それほど増えておるといことではないのですけれども、電車を御利用いただいている生徒数が増えておるといふうに推測をしておるところでございまして。

それでは、次に、その次の別紙1、A3の資料でございましてけれども、これが月別の推移を折れ線グラフに示しておるものでございます。

これではちょっと分かりにくいんですけども、順調にちょっと右肩上がり回復をしてきておるといところでございまして。

それを少し分かりやすくしておるのが、次のページの別紙2でございまして。

これが、月別にそれぞれ年度ごとに並べたものでございまして。青色がコロナ前の2019年度いところでございまして、それ以降の推移を色別で表しておるといことで、コロナの影響がある2020年から23年、24年と推移するごとに徐々に増えてきておるといのが、このグラフを見ていただくとお分かりになるかなといふうに思います。ただ、11月、12月、それから1月、2月と見ていただきますと、最近の増加率が少しちょっと若干落ちてきているのかなといような状況でございまして。

資料については以上でございましてけれども、資料にはございませんけれども、現在の直近の足元の状況について申し上げたいと思っております。

5月までの累計値ではございましてけれども、対前年と比較をいたしまして、プラスの3.3%という状況でございまして。ただ、5月の単月だけを取りますと、プラスの2.0%といことで、若干鈍ってきております。6月についても、まだ集計ができておりませんが、少しちょっと鈍ってきておるといような状況でございまして。これらの利用率について、今後もしっかり注視していきたいといふうに思っております。

御報告については以上でございまして。

○会長

ありがとうございました。神戸電鉄様から利用状況の説明がありました。

これについて何か御意見等、御質問ありましたら挙手にてお願いいたします。

●●さん、どうぞ。

○●●委員

小野商工会議所、●●です。よろしくお願ひします。

●●さん、ちょっとお聞きしたいんですけど、榎山駅、これの、榎山駅から乗って、粟生線以外に降りる人とか、さきほどの数字で、大村駅と榎山駅の数字が何か非常にいびつな感じがするんですけど、資料5ページなんですけど、「有」から「粟」は粟生線以外の駅で乗車し、当該駅で降車しということで、榎山で5, 200人降りているにもかかわらず、今度、乗る人が少なくて、大村駅のほうが、逆に言うと、大村から乗って粟生線以外に行ってる人が多いと。これ、両方の数字を入りと出で比べると、ほぼ一緒なんで。これ、何か、私、実は匠工業会で理事長もしております、今現在、約6,000人の従業員がいるんですけど、そのうちの約20%、1,200人が外国人です。小野市のほうでらんらんバスを出していただいたおかげで、年間で4万人の従業員がバスを利用し、粟生線を活用しているということなんですけど、残念ながら、今、榎山から匠台までバスしかないもんですから、私から考えると、皆、榎山から乗ってきて、また、榎山に戻ってという移動だと思ってるから、この数字はちょっといびつなんで、ひょっとしたら帰りは大村まで歩いて乗ってるかと。

○●●委員

ちょっとどう動いておられるか分からないんですけど、もともとは榎山駅は外国人のかたが乗降に関しては多かったんですけども、最近の傾向として、この大村で乗降されてる外国人のかたが増えてきてございまして、そこから先、ちょっとどう動いておられるかっていうところまではちょっと追跡はできてないんですけども、お見かけする限りは、少しちょっと変化が見られてるというような状況でございます。少しちょっと、降りられた後、どう動いておられるかまではちょっと調査できてないので、申し訳ないんですけども。

○●●委員

いいですか。

これ、資料でいきますと7,054人のかたが大村から乗られて、どこか粟生線以外で降りられてるという数字ですよ。

○●●委員

そうですね。有馬線のほうに行かれて、どこかの駅に降りられているということです。

○●●委員

この数字はちょっと不思議な動きだなと思うんです。それで、前、仲田市長に私、直訴じゃないですけど、三木から匠台までバスを出してほしいと。小野はらんらんバス出しているんですけど、みっきいバス出してほしいというようなことを以前お願いしたことがあるんですけど、法律上、ルール上、市をまたがって市のバスが運行することができないというふうな御回答をいただいていたんですけど、これが今日ちょうど国とか来られてますけど、国土交通省とか、何かそんなルールがあるんですか。

○●●オブザーバー

兵庫陸運部の●●でございます。

バスそのものを動かすに当たって市をまたいではいけないというルールはないんですけども、それぞれの市町さんのお考えというところがどうしてもありまして、市が支援をするんだからっていう、そういうふうな関係上、市の市境である、あるいは、市境を少し越えたあたり、あるいは、駅までみたいなの、そういうふうなことをされるっていうことは多々ございますが、国のルールとしては市をまたいじゃだめですよっていうようなものではないという。

○●●委員

ありがとうございます。じゃあ、ちょっと私の勘違いで、市長のお話を間違っただけで捉えてたのか分かりませんが、私としては、匠工業会、6,000人で、決して人が足りてるわけじゃなくて、今日のこの資料にもありますけど、新産業団地は、これ、600人って書いてありますけども、600人どころか、もっと多い予定なんです。今現在の檜山からのらんバスだけではなかなか受入れができなくて、従業員も確保できないということがございますし、匠工業、今、6,000人のうち1,300人が三木市からのかたでございます。そういった意味でいくと、三木、小野にとらわれず、そういったアクセスを整えていただくことが、短絡的に、有馬のほうから通われるかたは、三木を経由して匠工業会に、北側から来られるかたは檜山を利用して匠工業会にいう形にすれば、交通の通行時間が減るもんですから、もっともっとたくさんのかたに来ていただけるんじゃないかなというふうに考えておまして、もし粟生線の利用客を増やすためにも、ぜひそういった形での方向性も御検討いただければうれしいなというふうに思います。

○会長

ありがとうございます。貴重な御意見ありがとうございます。また、小野市のこともありますので、小野市からきっちり要望ありましたら、また検討させていただきます。

ほかにありますか。

よろしいですか。

(「なし」の声あり)

○会長

では、ひとまず次に移ります。

報告事項2、神戸市ふるさと納税を活用した木津駅的美装化について事務局からお願いいたします。

○事務局

神戸市交通政策課の●●です。どうぞよろしくお願いたします。

着座にて説明させていただきます。

神戸市では、神戸電鉄の開業90周年を機に、ふるさと納税を活用した駅施設改修事業に取り組んでおります。これまでに木幡駅の駅名板を新しく設置するなどを実施してきました。今回、こちらのほうに書いておりますけども、神戸複合産業団地の最寄り駅として多くの通勤客が利用し、今後も進出企業により乗降客の増加が見込まれる木津駅にて駅施設改修事業を実施しました。

実施概要としましては、下段に書いております写真を見ていただきたいのですが、壁面の塗り替え、ベンチと人工芝の設置、ポストの移設を行っております。

裏面に行ってくださいまして、改札周囲の美装化ということで、壁面や柱の塗り替え、照明のLED化などを実施しました。上りホーム待合室などの美装化としまして、ベンチの更新、壁面の塗り替え、照明のLED化などを行いました。引き続き、ふるさと納税を活用した駅改修事業を進めてまいりたいと考えております。

以上でございます。

○会長

ありがとうございました。

この件につきまして何か御意見ございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

(「なし」の声あり)

○会長

では、本日の議事事項、報告事項、全て終了したわけでありましたが、全体を通しまして、また、ほかに今思い付いたこととか、何かありましたら、御意見等ございますでしょ

うか。

よろしいですか。ある。はい、じゃあ、事務局、どうぞ。

○事務局

すいません。神戸市から、一番後ろに別紙1枚でお配りさせていただいております、職員技術研修所での研修をスタートしますというチラシを付けさせていただいております。

よろしいですか。

こちらのほうをちょっと簡単に説明させていただきたいなと思います。よろしいでしょうか。

真ん中に位置図が書いてございます。地図、書いておりました。

神戸市では、木津駅を御利用駅とするこうべ環境未来館が閉館した後、その建物や駐車場などを転活用して、職員技術研修所を設置しました。研修の特徴としては、駐車場をつぶしてフィールドを造りまして、そこを活用してコンクリートの構造物の製作とか、ドローン操縦技能の習得などのプログラムを実施することとしております。

裏面行っていただきたいと思います。

7月5日、今週金曜日でございますけども、100人規模の技術講習会を行う予定としておりまして、駐車場が少なくなったということから、公共交通機関で来場するよう呼びかけております。今後も当該地の研修を開催することで、職員の粟生線利用を促していきたいと考えております。

以上でございます。

○会長

ありがとうございました。

質問ございますでしょうか。

(「なし」の声あり)

○会長

では、神戸電鉄さんに、さきほど●●委員から出ました大村、檜山の外国人の流れみたいな話がありましたけど、もし何か次、分析できるようなことがあれば、追加の分で御報告いただければ。

○●●委員

分かりました。

○会長

またできるようであればよろしく願いいたします。

では、今度、8月に押部谷明石川まつりがありますんで、●●さん、マイクを渡しますんで、せっかくですので御発言いただければと思います。

○●●委員

すいません、失礼します。私、押部谷の連合自治協議会の会長をしておるんですけども、名前変わりまして、押部谷明石川愛護協議会の会長もしています。こっちのほうが、自治会を退会した人がいるんですけども、明石川を愛して、皆さんで守っていこうじゃないかという協議会をつくりまして、今年で約20年目になるんですけども、途中コロナでできなくて、今年19回目になります。主催者の発表では1,500人参加という名目なんですけど、実質200人ぐらいはたぶん切っていると思います。もし時間が合うようでしたら、お盆の8月18日ですけども、参加して盛り上げてもらったらと思います。一応参加費無料ですので、よろしく願いしたいと思います。

以上で終わります。

○会長

ありがとうございます。お手元に8月18日ということでチラシが行っていると思いますので、ぜひお時間あるかたはお誘い合わせの上、御参加いただければというふうに思い

ます。

ほかに御意見、御質問、また、PR等ありましたらよろしくお願ひいたします。
よろしいですか。

(「なし」の声あり)

○会長

では、マイクを事務局にお返しします。

○事務局

会長におかれましては、会議の進行、どうもありがとうございました。

それでは、閉会に当たりまして、協議会副会長、小野市、藤原副市長に御挨拶をお願いしたいと思います。よろしくお願ひします。

○副会長

小野市の藤原でございます。

本日は、慎重に審議していただきましてありがとうございます。

さきほどからお話を聞いておりますと、いろいろとイベントをしていただいて、それで活性化を進めていただいておりますが、さきほど小野市の●●会頭、商工会議所の会頭のほうから御質問があった内容で、私もちょっと気になったんですけども、まず1点目は、やはり働く場があって人が動く。それで、鉄軌道で動くという仕組みは非常に大切なことだなというふうにしておりまして、実はこのらんらんバスの数、私もちょっと来る前に、どういうふうな形で使われているのかという人数、拾ってみたんですが、だいたひ令和元年から比べますと、この匠台ルートというルートは年間で1,800人ぐらい多く使われているというふうな数字が出てまいっております。これ、日に直しますと、こちらでは44名増えたというふうな数になっていたんですけども、単純に割り算をしますと、その倍ぐらいの人が増えたような使い方になっているんですけども、それがおそらく大村と、それから、分かれている部分があるのかなと。常に匠台ルートでバスに乗られるかたは、おそらく定期券を買われているんですけども、なかなか担当に聞きますと、定期券がそれほど外国人のかた、増えてないということもあったので、何かさきほど言われたような使い方もされているのかなというふうな印象を持っています。

いずれにしても、今後、駅からいかに必要な場所まで動きやすいような環境を整えるかということも非常に大事になっていくと。また、それによって、神戸電鉄にも興味を持っていただく、また便利だなと思っていただけるような機会が増えてまいりますので、我々としまして、やはり沿線市としてはいかに駅から目的地へどう簡単に動けるかというふうなことも考えながら活性化を進めてまいりたいと思いますので、また、皆様も御協力よろしくお願ひします。

本日はどうも御苦勞さまでした。

○事務局

ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして第52回神戸電鉄粟生線活性化協議会を閉会いたします。

次回の協議会の開催につきましては、8月を予定しております。何かと御多用のところ恐縮ではございますが、その際には御参集を賜りますようお願い申し上げます。

本日はどうもありがとうございました。